

### 平成 14 年 11 月 1 日 第 38 号

:いなさ自然休養村 くつみくさ>

事務局:引佐郡引佐町 東久留女木 472-111 TEL053-545-0381

校長訓話

第三十八回校長 名和 理代子

ます。未だにメダカの学校の運営の仕組 職員会議なるものに参加しました。 みがよくわかっていないのが、現状です。 メダカの学校に参加して10年になり 今回メダカの学校校長として、初めて

りますが、組織を動かしていく職員会議 は始めてで、「こうしてメダカの学校が動 いているんだなぁ。」と改めて実感しまし 給食係や受付や先生はやったことがあ

のか、全く知りませんでした。 な風に運営されて、今までやってこれた ことは、理解していても、いったいどん 確かに事務局なるものが存在している

いない私が、今回の校長をやるのですか 分については、 の精神で参加していくわりには、この部 誰もが先生で生徒であり、常に、 まさに10年目にして、新たな勉強で 全く仕組みがよく解って

> りで終わっていいものか、疑問を持ちな とで子育てをしています。 ます。毎日いろいろな発見と、とまどい とをテーマにお話ししようと思います。 とで、今回の職員会議を通して感じたこ がら、今、自分が皆さんに伝えられるこ 私たち夫婦には5歳の女の子が一人い 校長訓話なるものが、 個人のおしゃべ

なさい」や「ありがとう」が言える人間 まいますが、元気で、本心から「ごめん 人は一人ではないこと、感謝できること。 子供には何かとルールを教え込んでし 一つ、そこに深く根ざしているのは、

人一人が互いを認めあうことから初め 人が集まって何かが始まる。だから、

理解する。自分と違うことを認める。 尊重することであり、 まると思うのです。 相手を認めるって事、 個人の尊重は、そういったことから始 相手の話を聞く。 それは、個人を

考え行動する。 を認めて、前向きにどうすればいいのか 解っていても出来ない自分がいること てほしいと思うのです。 相手を認めあいながら、 な子であってほしいと願っています。 様々な人と出会い、みんな違うけど、 自分らしく生き

議論談笑

であってほしいし、うそをつかない素直

の話を聞くことさえなく、時間を奪われ 時間の花を取り戻していくお話です。 ていく人々の中で、モモという女の子が という本があります。時間に追われ、 非、大人になった私たちが読んで、 てほしい本だと思います。 ミヒャエル・エンデの作品に「モモ 是

終わりますね。 稿がいっぱいになってしまうので簡単に た人です。(このことに詳しくふれると原 エンデは、シュタイナ―学校を卒業し

開校日/平成14年12月6日(金)6:20PM 受付/中小路方:中村真弓・井上啓子 鈴木計方(後見人) と時間割/中がをかまう唱 6:25 解入生紀介 6:35 解表局からの連絡 6:35 解表局からの連絡 6:35 「建学の相」唱のよる夢を語 6:45 校建学の知って、 8:00 楽表側話精で、 8:00 楽を今時間と 8:00 楽をのほどに 8:00 ※全のほどに 10:00 全員で片付け 10:10 2002年に感謝とお礼 10:30 閉校 より ・佐藤律子 さらなる夢を!

唱和 さらなる夢を語り合おう~

10:00 10:10 10:30





だカ

第 38 回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

長/名和理代子

頭/本間 稔

用務員/岡田清多良 給食係/徳増兼弘・本島慎一郎・中嶋豊

石野省三·伊藤英雄·古橋利雄 尾上美智子・水村春江・鈴木真弓

鈴木正子・牧野久子 渡辺三ツ子(チ

<学舎>静岡県引佐郡引佐町奥山 1737-286

TEL 053-543-0321 (開校日のみ)

いなさ自然休養村「つみくさ」内

# 泳ぎ回るめだかたち

■遠州横須賀街道ちっちゃな文化展 遠州横須賀俱楽部が主催する「遠州横須賀俱楽部が主催する「遠州横須賀俱楽部が主催する「遠州横須賀俱楽部が主催する「遠州横須賀俱楽部が主催する「遠州横須賀俱楽部が主催する「遠州横須賀俱楽部が主催する「遠州横須賀県来ないる。 大市などの正式展示が一トや出来ないとのに寄ってみたが、横須賀の町並みにある。 一下で四回目になる。絵画、版画、である。 一下で四回目になる。絵画、版画、である。 一下で四回目になる。 一下の出来が、一下のにあるれ、 一下の出来が、一下のは、 一下の出来が、 一下のに、 一下の、 一下のに、 一下のに、 一下のに、 

の新しいまちづくりを進めるためには、 生かする時ではないでしょうか、新しい を見ってはないでしょうか、新しい を大きなのではないでしょうか、新しい を見ってはないでしょうか、新しい を見ってはないでしょうか、新しい をしなおきなが必要です。 をしい自分を発揮し、必要です。 をしい自分を発揮し、必要です。 をしい自分を発揮したいと思うななど、少しおがら、まなのではないでしまっても、世域の方を考え、積極的に発言しているが必要です。 をしい自分を発揮したいと思われるぐらいとかった。 をしい自分を発揮したいと思うななど、少しおが必要です。 をしい自分を発揮したいと思うななど、少しおが必がら、まなして幸運にも、将来のまちづくりとアクションの一 をしい自分を発揮したいと思うなら、そ での方を発揮し、めだかの学校」の生徒は、自分を発揮し、めだかのお話を聞いたとを考えい、地域のではないでしまうか、新しい をしたいるのが必要です。 をしてもありではないでしまうか、新しいのが必要です。 は、かのがおが必要です。 をもしてもないでしまうか、新しいのが必ずる時ではないでしまうか。 まちづくりのために、 を考えているを考言しているとを考えいる。 を考えているとを考さした。 を対してもないでしまうか、新しいのが必要にないでしまうか、新しいの成果を を対してもないでしまうか、新しいの成果を

応援を得て開いた「そば打ち道場」も大きな文化運動となって、周辺の空間まである。 で大きな文化運動となって、高辺の空間まである。 で大きな文化運動となって、高辺の空間まである。 で大きな文化運動となって、高辺の空間まである。 で大きな文化運動となって、高辺の空間まである。 で大きな文化運動となって、高辺の空間まである。 で大きな文化運動となって、高辺の空間まで、 で大きな文化運動となって、高辺の空間まで、大きな文化運動となって、高辺の空間まで、 のまちづくりイベントにとどまって、 ののまちづくりイベントにとどまる。 である。そして、作家自まである。 であるが、地域に、 なのまちづくりイベントにとどまって、 の祭典花である。 である面をいまたである。 である面をいまたである。 である面をいまたである。 である面をいまたである。 である面をである。 である面をである。 である。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である。 である面をである。 である。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である面をである。 である。 である面をである。 である。 である。

■『しずおか未来づくりネック交流会議 in 富士宮」 あなたは富士宮といえば何を思っているはのでしょ、勇水でしょ、うらんあとは・・」 「富士山でしょ、勇水でしょ、うらんあとは・・」 市内の方はもとより、国が人気の秘訣。 市内の方はもとより、市外県であるで、その富士宮市を会場によったがおか未来づくりネットワークながおか未来づくりネットワークないが人気の秘訣。 コーヤ は、 一本のですない。 古人気の秘訣。 コーナー は、 日本のですない。 「一本のですない。 「一本のですない。 「一本のですない。」 「一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「一本のでは、「本のでは、 いりネッ 6何を思 T) 1月18日 (マラン・18年) 1月18日 (マラ 「やきそば」 独屋 Ļ 特さのん ۲ からも 牧場、 () 味が ワ

は両会メンバーは一条では、18年の一を18年のでは、18年の一条では、18年の一を18年のでは、18年の一を18年のでは、18年の一を18年のでは、 ハは六 は川田寺/田子 |一点浜 瀬峰 | ミ不る だ人。松12土観旧交秋会

リ **す L ■**- 今**る石** 二 当野第 省14 三回 ニメダカの生生回いなさ人形式 徒劇 にたちも公園まつり」 木武史生 公

午後から始まる研修会、地生かした活動をしている東・生かした活動をしている東・どんいる富士宮やきそばのトージの案内による市内散策を予定。 当日の午前中には、ボランドの案内による市内散策を引たいるの中間には、ボランがの外間にちも多数参ががあれるでおいしく楽しいフめだかの仲間たちも多数参りだくさん。 |き家に会場を移 八散策&焼そば:、ボランティア! の た う 東 ・ 中 は も 、 中 が 力 力 力 力 力 力 力 力 定 。 決 定 。 - クバトル 中・西部の 中・西部の グーラムが予定。 体ガ じて 徒

3田が 不メ 5 秋ダ 022がメカ生で 1 に参 8 5 相 5 相 34FAX同じ。 旧談を!。(TE. じ L 徒 Oは 5松

■三遠南信ひとネットワーク"ゆめまる"交流会
「2000年ゆめまるごと語ろうかい」として始まった、三遠南信ひとネットワーク。今回の、「ゆめまる」も、遠州(観音山やが好き、しぜんが好き、一週に、人のネットワークを広げてきた。今回の、「ゆめまる」も、遠州(観音山である方法ののコンベンションをは、「1月9日、「10日の2日間。「10日の2日間。」として始まった、三遠南信ひとネッが下見に行き、雄大な自然景観を楽りかが好き、しぜんが好き、しずめめまる。「は、一次を広げてきなが好き、しぜんが好き、やめが好き、からが好き、しかのまる。」に、三遠南信ひとネッがが見に行き、雄大な自然景観を楽りかが好き、しぜんが好き、一旦である斉藤昭メダカのお世でもが好き、しせんが好き、ゆめまる3つのこころ、ひとが好き、しぜんが好き、ゆめまる3つのこころ、ひとが好き、しばんが好き、ゆめまる3つのに対した。

出しらど地計学好旨ピすな見出れにち開と自会らで田が**麦**■席てれ20へを生会いユるく当会て迷ま講(然を農養望中横生活 をた人へで変し、これでいうちし1・開係・心田塾動 

ダきも打り剛賀 カこ研ちし、倶 さっ修道き深楽 ハメダら つ修道き深楽

城市できました」ではなく、 「こういう酒ができました」ではなく、 下戸もまじえたにわか利酒会となり、夜下戸もまじえたにわか利酒会となり、で を生塾」。興味のあるメダカさんは、定年とので強り上が、定員は40一づく。数人の宿泊 とで、エーーディスカの話を聞いた。 を生塾」。興味のあるメダカさんは、定年との後は、フリーディスカの話を開いた。 で、エーーディスカの話を聞いた。 を生塾」ので続けている「小 をしている人が限界。次回は は、定年後に一 人が限界。次回は をで、1月19日(土) をで、2858日にしている「小 をは、フリーディスカの話を聞いた。 をは、フリーディスカの話を聞いた。 をは、フリーディスカの話を聞いた。 をは、フリーディスカのいる「小 をしている「小 をしている「か をしている「小 をしている「いる」と言える酒 をしている「いる」と言える酒 をしている「いる」と言える酒

有南合併

ゃ

生さ上行原

メ

メん※書き ※書きた でのは

はいカ こへ ħ まい まで。、、、 おい 手 ţ١

-紙頂戴!!ごいるのに…ご

バご

## めだかの学校の一〇年 エッ、光っているメダカもいるの!

した。

こんど見学させてください」これには参りまるですか、こんど見学させてください」これには参りまるそそっがしい人もいるもので、「光っているメダカもいるの黒いメダカや中には光っているが、この頃は「どんなメダーまっています。」と答えているが、この頃は「どんなメダーまっています。」と答えているが、この頃は「どんなメダーまっています。」と答えているの?」。
「めだかの学校は何を教えているの?」。
「めだかの学校」の一節です。

『めだかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減『めだかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減『めだかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減『めだかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減『がたかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減『がたかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減『のだかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減『のだかの学校』は、おもしろ人立。4人のいい加減 とも言われている。 ンルの人達がおり、そんなところから、異人種グループ。

笑。まさに交流。これぞ醍醐味。これが人の集まる理由笑。ならの時間』にある。食べるほどに飲むほどに議論談のである。なんと言っても「めだかの学校」の楽しみはできない。入学の条件が『30分間講義ができること』な『めだかの学校だより』で知ることになる。断ることはられる。先生になった生徒は、1ヶ月前に送られてくる 業内容は職員会議で、テーマ、先生、科目演題まで決め教頭、用務員、給食係もいる。職員会もあり、毎回の授学の精神』もあれば、3ヶ月に一度で交替するが、校長、はてさて、「めだかの学校」は『学校』なのである。『建

挑戦心』―自己研鑽なのである。10年を迎えた今、「10の学校の『建学の精神(こころ)』は『好奇心と遊び心と時には先生になって―挑戦心と自己研鑽。そう、めだか遊び心。「―誰が生徒か先生か―」は生徒でありながら5とのぞいてみてごらん。みんなでお遊戯―」は好奇心とを歌「めだかの学校」に詞われている基本精神、「―そっ検歌「めだかの学校」に詞われている基本精神、「―そっ **周年企画委員会」をつくって記念事業の企画を検討して** 

ポジウム』など。そんな中、「三遠南信地域で活躍していめだか生にしかできないような質の高い夢のある『シン跡と、めだか生の地域活動と連携をまとめた『10 年史』。在校生も交えた『大同窓会』。めだかの学校10 年の足

るめだか生も多いから、長野県の田中康るめだか生も多いから、長野県の田中康 るめだか生も多いから、長野県の田中康 を知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と静岡県の石川嘉延知事の対談は 大知事と称がある。

のである。

言い出しっぺ 榊原幸雄おもしろ人立「めだかの学校」

★右記事は、Ami8号に掲載しています。 \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

らめてます。でも首を長くして待ってまり」も、又々遅れてしまいました。「呆きいやはや全く…で、「めだかの学校だよ集中力、気力、記憶力、体力も衰えて… か。私と言えば男の更年期でしょうか、■お~寒む。皆さんは如何お過ごしです

した。県立観音山少年自然の家で開校された「37回」は、あいにくの天候で、ファイヤー"を囲んでの青春謳歌はできませんでした。体育館でのキャンドルファイヤーで、ちょっとだけかんじました。観音山少年自然の家で用意してくれたペロペロ舌を出すマムシの『赤太郎』『青太郎』にはびっくり。人気者でしたヨ。にはびっくり。人気者でしたヨ。にはびっくり。人気者でしたヨ。にはびっくり。人気者でしたヨ。にはびっくり。人気者でしたヨ。 ていて、あらためて10年の重みを感じまをもって10年。『10年の足跡』をまとめ「めだかの学校」も、9月6日の37回〜す」とは、うれしいね。

るけど、『あとは事務局でー』いやはやいい合うのもいいネ」と全体集会と給食用は出て決まいる提言者はあの人がいいヨ」「じゃ、口切る提言者はあいた。夢や希望を個々人の思い切る提言者は私にやらせてー」。「口火を校長「進行は私にやらせてー」。「口火を校長「進行は私にやらせてー」。「口火を対る提言者はあの人がいいヨ」「じゃ、口切る提言者はあの人がいいっとなる。話では、『建学の精後の夢も含んで、あらためて『建学の精後の夢も含んで、あらためて『建学の精

ましたが経営者も変わりムリしてもらう年間「つみくさ」をお借りしてやって来■さて「めだかの学校」の学舎ですが、10

いね ――。 びくように花が咲く『白雲木』がいびくように花が咲く『白雲木』がいたりして…空高く伸び白い雲がなできれば最高ですね。記念樹も植え

込書を同封しますので、必要事項を続きを済ませていない生徒には申続きを済ませていない生徒には申り、の継続手で、の継続手で、の継続手で、の継続手で、の継続手で、の継続手で、14年9月1日~ は自動的に名簿からはずれ、自動退付けはしますが、手続きのない生徒出してください。その後も随時受け記入し、千円を添えて事務局まで提 学となります。ご注意ください。

(事務局 榊原幸雄メダカ)

るエヌビーネットの伊藤さん、照井 ダカ。それを編集・印刷してくださ 石野省三、本島慎一郎、鈴木正士メ 泰子メダカさん、原稿出稿のメダカ ち、メール送信してくれる溝口久、 ★ありがとう―生原稿をパンチ打

メールで。次回発行日は2月1日で 日以外でも。場所、日に合わせてまいます。個人情報でも結構です。期 ネット照井泰子あて) Eメール/nb@nbnet.co.jp(エヌビー す。1月20日までに事務局へ。 とめます。ハガキで封書で FAX で ◆各地のたよりの掲載について )ます。個人情報でも結構です。期各地でいろいろ催事があると思

### めだかの学校事務局

べての連絡・お問い合わせは「事務 局」にお願いいたします。 ※「つみくさ」は学舎のみです。 「リンデンバウム」内 榊原幸雄 静岡県引佐郡引佐町東久 留女木472-111 T431 · 2531 वं